

埋蔵文化財調査室



# 南観音考古学教室2021

—見る・聞く・やってみる考古学—

参加費  
無料

**第1回：きらきら教室**

8月4日(水) 1部：10時～12時／2部：13時半～15時半  
[会場] 南観音公民館

**第2回：埋蔵文化財調査室見学と古銭の鑄造体験**

8月18日(水) 10時～12時  
[会場] 埋蔵文化財調査室(集合場所：南観音公民館)



お問い合わせ

埋蔵文化財調査室

〒733-0036 広島市西区観音新町4丁目8-49 TEL (082) 295-5751 FAX (082) 291-3951  
HP <http://www.harc.or.jp/> E-mail: maibun@harc.or.jp



**参加対象**

小学生以上、一般  
※小学校低学年の方は、保護者同伴をお願いします。

**定員**

8月4日(水) 1部・2部それぞれ20名程度  
8月18日(水) 10名程度  
※先着順で受付、定員になり次第締め切ります。

**その他**

活動しやすい服装でご参加ください。  
マスクの着用をお願いします。

**申込方法**

申込先：南観音公民館(受付：7月26日(月) 9時～)  
〒733-0036 広島市西区観音新町二丁目16-46  
TEL&FAX：082-293-1220  
公民館窓口もしくはお電話にて申し込んでください。



## 埋文アラカルト

お仕事チラ見せ! その2 ちゅうき 注記 やよいちゃん



出土した遺物をきれいに洗浄したあとは、注記を行います。注記とは、遺跡名や出土地点などを遺物に書き込んでいく作業で、遺跡から出土したほぼすべての遺物に行います。注記があることによって、遺物がどこから見つかったものかすぐにわかります。どこの遺跡のどんな遺構(例えば建物跡やお墓など)の、どの層から出土したものかなど、その遺物の基礎データを、あまり目立たないところのできるだけ小さな字で書いていきますが、

すべての情報をそのまま書き込むと文字だらけになってしまうため、遺跡名や遺構の名前などは省略して記号やカタカナで書き入れます(例：亀居城関連遺跡第3次調査→カメイ3)。

とても地味な作業ですが、指先ほどの範囲に読める字を書き込む作業は熟練の技が必要です。遺物一つ一つに手書きで情報を書き込んでいくのは大変な手間と時間がかかりますが、一文字ずつ丁寧に作業を行っています。



注記の作業中



道具は面相筆という先が細長い筆です



1 cm 四方ほどの範囲に書いています

お問い合わせ

埋蔵文化財調査室

〒733-0036 広島市西区観音新町4丁目8-49 TEL (082) 295-5751 FAX (082) 291-3951  
HP <http://www.harc.or.jp/> E-mail: maibun@harc.or.jp

